

気高き騎乗の王妃。その戦いの真実。

マニカルニカ

ジャーンシーの女王

主演 カンガナー・ラーナーウト

『クイーン 旅立つわたしのハネムーン』

監督 ラーダ・クリシュナ・ジャガルラムディ

キャスト: ジーシュ・セーングプタ、スレーシュ・オベロイ、アトゥル・クルカルニー他

2019 | インド | 148分 | カラー | シネスコ | 5.1ch | 原題: Manikrnikha The Queen Of Jhansi | 日本語字幕: 藤井美佳

配給: ツイン TWIN

©Esselvisionproduction(p) (LTD)

KANGANA RANAUT
IN & AS

PRODUCED BY ZEE STUDIOS & KAMAL JAIN
DIRECTED BY RADHA KRISHNA JAGARLAMUDI

CO PRODUCED BY NISHANT PILLAI
STORY - SCREENPLAY: V. VIJAYENDRA PRASAD DIALOGUES - LYRICS: PRASOON JOSHI MUSIC: SHANKAR EHSAN LOY

@movietwin2
manikarnika-movie.com

ZEE MUSIC CO.

『バーフバリ』の脚本家が強く美しいヒロインを描き出す
スペクタクルアクション歴史劇!

マニカルニカ

ジャーンシーの女王

イギリスの植民地支配と戦う「インド大反乱」の中で、祖国に殉じたマニカルニカ。
後にラクシュミー・バーイーという名で今も人々に尊敬される、インド史上最も有名なヒロインの生涯。

1857年の「インド大反乱」において、北インド中部の国ジャーンシーの女王であったラクシュミー・バーイーは、自ら兵を率いて勇猛果敢な戦いを展開した。"インドのジャンヌ・ダルク"と称えられる彼女は、愛国の英雄として今も人々に敬愛されている。主演は、『クイーン 旅立つわたしのハネムーン』で高い評価を受けたカンガナー・ラーナーウトが務め、気高いヒロイン像を体現した。脚本は『バーフバリ』シリーズ、『バジュランギおじさんと、小さな迷子』を手がけたK.V.ヴィジャエンドラ・プラサード。

STORY

ヴァラナシで僧侶の娘に生まれたマニカルニカ(カンガナー・ラーナーウト)は、ビトゥールの宰相に育てられ、幼い時から武士階級の男子同様に剣や弓、乗馬を習って成長した。その勇敢な行動を見かけたジャーンシー藩王国の大臣から、藩王ガンガダル・ラーオ(ジーシュ・セーングプタ)との縁談が持ち込まれ、やがてマニカルニカはジャーンシーに嫁ぐ。藩王は彼女にラクシュミーという名を与え、

マニカルニカは人々からラクシュミー・バーイーと呼ばれて親しまれる。しかし、生まれた王子は夭折し、親戚の幼い男児を養子に迎えたものの、間もなく藩王が病死してしまう。その機に乗じてイギリスは藩王国を併合、ラクシュミーは城を後にする。だが1857年にインド大反乱が勃発すると、ラクシュミーも呼応して蜂起、国のため、民のため、戦いの場へと歩を進める!

監督: ラーダ・クリシュナ・ジャガルラムディ

脚本: K.V.ヴィジャエンドラ・プラサード

出演: カンガナー・ラーナーウト、ジーシュ・セーングプタ、スレーシュ・オベロイ、アトゥル・クルカルニー他

2019年/インド/ヒンディー語/148分/カラー/シネスコ/5.1ch/原題: Manikrnikha The Queen of Jhansi/字幕: 藤井美佳/配給: ツイン ©Esselvisionproduction(p) (LTD)

@movietwin2

manikarnika-movie.com

2020年1月3日(金) 新宿ピカデリーにて
2週間限定ロードショー!